RECYCLE RONDO

特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル

発行:集めて使うリサイクル協会
〒541-0043
大阪市中央区高麗橋1-3-4
小池高麗橋ビル
TEL.06-6209-7155
FAX.06-6209-6685
E-mail : info@r-kyokai.org
URL http://www.r-kyokai.org/

特定非営利活動法人／集めて使うリサイクル協会

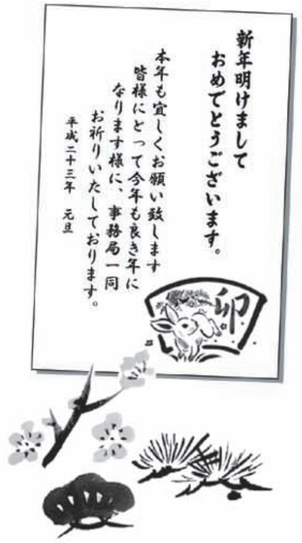
協会報

エコ酒屋登録店 只今441店舗

Vol.36 新春号 2011年1月1日発行

二〇一一年 新年のご挨拶

特定非営利活動法人
集めて使うリサイクル協会
代表理事 和田 志津子



今年は協会設立13年目を迎えますが、「環境と福祉」という協会の活動も、ようやく多方面に認知されてまいりました。昨年から障害者の仕事づくりと酒パックを含めたアルミ付紙パックリサイクルの活動に特化して、その内容を整理してまいりましたが、徐々に成果を上げてきております。今後も決して焦ることなく一つ一つ新たな話題を提供しながら着実に歩んで行きたいと考えています。

またホームページや協会報等の見直しなど、様々な整理を図っておりますので、今年は見やすいホームページや会報等をお届けできることと思います。

障害者作業所との活動について

活動を連携している作業所では、自立支援法による施行の影響やガソリンの高騰などもあり回収コストが掛り過ぎ収益が上がらず、2、3年前から作業所の事業に変化が起ってきています。折角借りた自治体のストックヤードを返還し、パック回収を辞める作業所も出てきはじめています。

昨年は長野県下を4ブロックに分け長野セルプセンターを主軸に紙パック回収やトイレットペーパーの販売等をし、ストックヤードを兼ねている主な作業所を15～6カ所回り、現状把握と現場の意見等をお聞きして来ました。現場の苦労は現場に行かなければわかりませんが、本当に様々な工夫をして頑張っています。この皆さんの工夫や取り組みを共有化する場の提供が出来ないかと考えています。

また、09年にも取り組みの報告をしていましたが「リサイクルロンドぎふ」が本格的に回収拠点を増やし、学校でも酒・アルミパックの回収を積極的に展開し始めました。さらに岐阜市環境局の中にアルミパック担当が設置され、環境省の助成事業を受けた作業所とごみ減量、作業所の仕事作りを同時に進められる酒・アルミパック回収が引きこもり・ニートの仕事づくりの一つとして、いよいよ本格化します。引きこもりは、いじめやホームレスの様に社会化していないため国にも支援窓口が無いとの事。

引きこもり・ニートの今後の暮らしを考えるため、私たちと連携して活動しているNPOが事務局を担って、今年2月12日・13日に岐阜大学で第6回全国大会が開催されます。

酒パック・アルミ付紙パックのリサイクル、エコ酒屋等について

「酒パックリサイクル促進協議会」では灘・伏見に続き、東海圏の酒造メーカーを軸にしたリサイクルシステムの検討をはじめました。

また、回収した酒パックの再生品を使うため商品開発プロジェクト部会が発足。酒パックキャラクターマークや再生品に付けられるマークが決まり各企業の取り組みの姿勢を表現していくことになりました。酒パック回収に参加して下さる「エコ酒屋」の登録数は、昨年末でなんと441店舗にまでなりました。特に酒造メーカーの集中する酒処「灘」のお膝元、芦屋小売酒販組合が一挙に61店舗登録していただいたこともあり、兵庫のエコ酒屋は80店舗となり一躍全国でトップクラスの登録数となりました。今年は全国小売酒販組合連合会・地域の小売酒販組合さんたちと地域での情報交換会等行っていきたいと相談しています。

私どもも地域に出かけた折には各県・地方都市の小売酒販組合や回収ボックスを置いて頂いている「エコ酒屋」を訪問し、現状報告や酒パック回収の協力を呼び掛けています。

さらにまだまだ少ないですが現場では酒販店と作業所のコラボが始まっています。地域での顔の見える関係が今後どんな領域まで拡大していくのか興味シンシンです。

酒パック再生品について

上記活動の中から、さまざまな酒パック・アルミ付紙パックの再生商品が誕生してきています。酒造各社でも積極的な、酒パック再生品使用が進んできました。

作業所と再生紙メーカーとの共同開発で酒パックリサイクル品の名刺も出来あがり、本格的に作業所の商品として販売されます。今回お年賀として同封しています卓上カレンダーも酒パック・アルミ付紙パックの再生品です。再生板紙見本帳にもなるものです。

また年末開催された「エコプロダクツ2010」の来場者に、酒パック再生品の「あぶら取り紙」を配布し好評を得ました。今後も新たな再生品を開発して行くことで、さらに関心を高めて行きたいと考えています。それらはすべて協会でも取り扱いますので、興味のある方はご連絡ください。

今年も地域に出かけて沢山の元気とエネルギーを頂きたいと考えています。その節は、皆さん宜しくお願い申し上げます。

平成22年度の取り組み（抜粋）

5月 集めて使うリサイクル協会定期総会&情報交流会

5月28日

OMMビル地下ギャラリーにて定期総会を開催。情報交流会では、「最近の古紙事情について」古紙ジャーナル社の本願静雄氏に、「容リ法の動向について」凸版印刷の横尾耕一氏に講演をお願いしました。またNHK「ルソンの壺」で放映された城東紙器の岩崎社長からお話をお伺いし、その後「酒パック再生紙が生み出す企業連動の商品づくり」と題して大和板紙・山陽製紙・五十川製紙の共同の取り組みについて、注目を集めるリサイクルペーパーの世界を語っていただきました。

6月・10月 岐阜量販店イベントでの、アルミ付紙パックリサイクルの呼び掛け

6月19日・10月2日

愛知で開催されたCOP10会議を受けて岐阜県のアピタ大垣店（ユニー）で開催されたイベント及び10月2日マーサー21（ジャスコ）でアルミ付紙パックのリサイクルを呼びかけました。

10月 パックマークメーカー会議 酒促進協東海地区見学会

10月5日

エル・おおさかにおいて、パックマークメーカー会議&情報交流会を開催。「エコラベルの現状と課題」について日本環境協会エコマーク事務局の佐野裕隆氏、「容リ法の動向及びリサイクルの側面から見た酒パック」について、凸版印刷横尾耕一氏に講演いただき、意見交換を行いました。

10月21日

名古屋で開催の第10回酒促進協会議に先立って20日岐阜大垣市、愛知日進市などの回収拠点や障害者作業所の見学会を実施し、メーカー各社に酒パックリサイクルの現状を知っていただきました。

12月 エコプロダクツ2010に出展

12月9日～11日

東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2010」に、今年も印刷工業会と共同で出展、酒パックアルミ付紙パックのリサイクルについての情報発信に努めました。今年の総入場者数は3日間で183、140人（前年実績182、510人）と発表されました。

今年のブースでは、酒パック再生紙を使用した「お酒コーナー」の看板も登場し、各社の酒パックがひときわ目立つ構成になりました。また昨年同様の、各社貯金箱に加え今年は酒パック再生紙で作った「あぶら取り紙」の配布も好評でした。

多くの来場者の中には、スーパーの環境問題担当者などもいて、店頭での回収を検討したいという感想や、大学生が環境の取り組みの一つとして学内で積極的に呼び掛けたいという声があるなど回収拠点の拡大にも繋がる可能性が感じられました。

2011年のエコプロにも、新たな話題づくりの材料を用意して出展に臨みたいと考えています。

今年も様々な取り組みを進めます。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会員募集中

会員区分		年会費(非課税)
団体	正会員	60,000円
	賛助会員	10,000円
個人	正会員	6,000円
	賛助会員	1,000円

入会金は不要です。循環型社会構築を目指す私たちの仲間になってください！

●「協会報」では、会員企業各社の環境活動や環境保全型商品の紹介を行なっています。●どんどん情報をお寄せください。

E-mail : info@r-kyokai.org　HP http://www.r-kyokai.org/